

I 学校の教育目標具体化のための全体計画

学ぶ

当事者意識をもって新たな気づきを得ようとする姿勢—自分の可能性をあきらめない場所に—

基盤となる自主、自律や自他の自由と個や集団の責任を大切にする生徒を育てる

主体的な探究心

知

徳

体

学校の教育目標 「学びの精神」をもち、仲間を思いやり、たくましく生きる生徒の育成

ふるさとに根ざし、広い世界に羽ばたく生徒

「地域連携」

仲間を思いやり相手の立場になって考える生徒

「人格形成」

働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒

「健全育成」

知る喜び、わかる喜びを求め、学び合う生徒

「協働学習」

舟橋中学校が目指す生徒像

目指す学校像 「信頼される学校」
健康・安全な生活を基盤として、
人間的・社会的な成長を目指す学校

目指す教師像 「信頼される教師」
生徒との豊かな関わり合いのもとに、
誠実に子供と向き合う教師

下支えするもの

「知」に関する施策

ふなはし「学び合い」スタイルを活用した授業実践

- ・学年間・教科間を貫く「学びの型」を意識的に実践し、単元や授業の展開部における「対話からの深い学び」を仕組む。
- ・授業者が教科に合った実践を工夫することで、多様な学び方を生徒が体験できるよう仕組む。

「個別最適な学び」に資する支援
生徒個々の実態を踏まえた励ましや助言を継続して行う。

個の学び伸長

「授業ノートやプリント、あるいは自学ノートを活用し、意欲や習熟度の向上につながる生徒への励ましや助言を週一度行うこと」を90%以上にする。

「徳」に関する施策

「自分たちで解決する意欲と力」を育てる取組

- ・学年段階に応じたためあての設定と実践、振り返りの場を行事や日常生活において積み重ねる。
- ・全教員による道徳の授業実施
- ・構成的エンカウンター、ソーシャル・スキル・トレーニング実施

人権教育の充実

- ・各種調査等を活用したいじめや不登校等の未然防止、早期発見・適切なチーム対応の継続

自主、自律、自由と責任

「自分事として捉えた学級や自身の課題に対する解決策を生徒が考え、その取組を振り返る時間を月一度確保すること」を90%以上にする。

「体」に関する施策

健康・安全教育の充実

- ・通年健康観察と環境保全・安全教育の実施(避難訓練、交通安全教室、不審者訓練、SOS教育等)

家庭学習やメディア利用時間を意識した時間管理

- ・「TO DO リスト」や振り返り機能が充実した「生活ノート」活用

課題を踏まえた体力向上

- ・地域学校保健委員会テーマ「よい姿勢と運動で健康になろう—立腰を通して—」に関する実践の小中連携

自己管理能力の向上

生活ノートの確認、あるいは生徒観察により、家庭学習やメディア使用を意識した過ごし方につながる生徒への励ましや助言を週一度行うこと」を90%以上にする。

令和7年度 アクションプラン

令和7年度の研修主題

自ら考え、共に学び合う生徒の育成—確かな学力を実現するための、対話のありかた—

村内連携・協働体制

